

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、13～17.5℃台を示し、やや高い水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網――シケと月夜間に出漁日数が少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり0.8トンの水揚げで、前週の20%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり0.3トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり9トンの水揚げで、前週の75%（前年並み）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の23%（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり89kgの水揚げで、前週の53%（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.9トンの水揚げで、前週の41%（前年を下回った）。ケンサキイカは、壱岐勝本地区では1日当たり89kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。
- 定置網――五島有川地区では、ブリなどが1日1統当たり334kgの水揚げ。五島魚目地区では、サンマなどが1日1統当たり301kgの水揚げ。北松生月地区では、サンマなどが1日1統当たり1.9トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マサバなどが1日1統当たり77kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり459kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり37kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（2/14日～2/17日の4日間）沖合イカ釣り船、船凍船は隠岐の島西海区～山口沖及び太平洋赤イカ海区出漁。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～山形沖にかけて出漁した。鳥取県漁協境港支所 入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況通信「第31-6号 2月に実施した壱岐水道・対馬東水道の観測結果」をホームページに掲載しました。

ホームページアドレス <http://www.marinelabo.nagasaki.nagasaki.jp/>

3月1日から「マリンラボ長崎」のホームページアドレスが変更になります。漁海況週報と通信は以下のアドレスでご利用できますので、これからもよろしく願いたします。

<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/shigoto-sangyo/suisangho/suisan-shiken-suishi-gyokaikyo/>